

初代市庁舎（1889年～1911年）

本町一丁目にあった横浜電信分局を1887年から横浜区役所として使用していた。

市制が施行された1889年から初代横浜市庁舎とした。

レンガ造2階建

（出典『横浜開港五十年史』横浜市中央図書館所蔵）



二代目市庁舎（1911年～1923年）

現在の市庁舎敷地内に建設

ルネッサンス様式を取り入れたレンガ造3階建

関東大震災（1923年）で被災焼失した。

（出典『横浜市要覧』横浜市史資料室所蔵）

三代目市庁舎（1923年～1925年）

桜木町一丁目にあった中央職業紹介所を関東大震災直後に臨時市庁舎として使用した。

（出典『仮市役所』（「関東大震災写真帖」所収、横浜市中央図書館所蔵）



四代目市庁舎（1925年～1944年）

現在の市庁舎敷地に建設

木造2階建

1945年の空襲にて焼失した。

（出典『御大典記念写真帖』横浜市史資料室所蔵）

五代目市庁舎（1944年～1950年）

第二次世界大戦下、空襲を避けるため野毛山にあった旧老松国民学校（老松中学校）に疎開した。

鉄筋コンクリート造3階建

（出典『目で見る老松のあゆみ』横浜市立老松中学校所蔵）



六代目市庁舎（1950年～1959年）

日本貿易博覧会神奈川会場（神奈川県反町公園）で使用していた建物に移転した。

木造2階建

（横浜市広報課旧蔵写真・横浜市史資料室提供）

七代目市庁舎（1959年～2020年）

横浜開港100年記念事業の一環として建設

鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階、地上8階建

（横浜市広報課旧蔵写真・横浜市史資料室提供）

